

北関東三県合同会議(茨城県大洗町)

さらなる連携強化へ



青柳会長(群馬県)



渡邊会長(栃木県)



岡部会長(茨城県)

茨城県建設業協会(岡部英男会長)、群馬県建設業協会(青柳剛会長)、栃木県建設業協会(渡邊勇雄会長)が一堂に会し、業界を取り巻く諸問題について話し合う第32回三県合同会議が23日、大洗シーサイドホテル(大洗町磯浜町)で開催された。

会議では、各協会から提案された①公共工事設計労務単価の引き上げ等について②社会保険未加入対策について③多様な入札契約方式の導入と活用について④の3議題について、各県の現状や対応、今後の見通しなどについて活発な意見交換を行った。

会場の冒頭、当番県である茨城県協会の岡部会長は「今後の大規模災害に備えるため、昨年、栃木・群馬・茨城の3県において災害協定を締結した。今後は3県が相互に連携を取りながら対応していかなければならない」とした上で「私も、社会資本の整備を通じて、地域社会の発展に貢献するだけでなく、雇用の創出に寄与すべき。今後

交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所の久保田一所長が「東日本大震災からの復旧など、地域の建設業が地域の安全に大きな役割を果たしていることが世の中に広く知られていない。官民連携し、建設業の魅力を伝えて行ければ」などと祝辞を述べ、立蔵義明茨城県土木部長が「県としては、業界が抱える共通の課題を真摯に受け止め、皆さまと一緒に、より良い方向となるよう入札契約制度の改善など努力していきたい」と話した。

また来賓として、国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所の久保田一所長が「東日本大震災からの復旧など、地域の建設業が地域の安全に大きな役割を果たしていることが世の中に広く知られていない。官民連携し、建設業の魅力を伝えて行ければ」などと祝辞を述べ、立蔵義明茨城県土木部長が「県としては、業界が抱える共通の課題を真摯に受け止め、皆さまと一緒に、より良い方向となるよう入札契約制度の改善など努力していきたい」と話した。

①平成25年度の補正予算および平成26年度当初予算における公共事業費の大幅拡大②国土強靱化計画の具現化および公共施設における防災・減災対策の推進③多様な入札契約方式の導入への取り組み④予定価格の上限拘束性の撤廃⑤建設業界を担う若手人材の確保・育成の取り組み⑥建設従事者が将来を託せる建設産業として社会保険未加入対策への取り組み⑦建設従事者が安心して働けるよう安定的な公共工事労務単価確保への取り組み⑧災害時に備えた事業継続計画(BCP)策定の取り組み⑨建設業における広報戦略等の推進⑩CSR(企業の社会的責任)活動と建設業関係諸法令の遵守⑪建設業から暴力団等の反社会的勢力の排除。

また来賓として、国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所の久保田一所長が「東日本大震災からの復旧など、地域の建設業が地域の安全に大きな役割を果たしていることが世の中に広く知られていない。官民連携し、建設業の魅力を伝えて行ければ」などと祝辞を述べ、立蔵義明茨城県土木部長が「県としては、業界が抱える共通の課題を真摯に受け止め、皆さまと一緒に、より良い方向となるよう入札契約制度の改善など努力していきたい」と話した。

立蔵土木部長は「建設業が将来にわたって活動していくためには、若年労働者の確保・育成に取り組むことが必要。この会議を通して北関東3県のさらなる連携を」とあいさつ。

立蔵土木部長は「建設業が将来にわたって活動していくためには、若年労働者の確保・育成に取り組むことが必要。この会議を通して北関東3県のさらなる連携を」とあいさつ。

立蔵土木部長は「建設業が将来にわたって活動していくためには、若年労働者の確保・育成に取り組むことが必要。この会議を通して北関東3県のさらなる連携を」とあいさつ。

立蔵土木部長は「建設業が将来にわたって活動していくためには、若年労働者の確保・育成に取り組むことが必要。この会議を通して北関東3県のさらなる連携を」とあいさつ。

立蔵土木部長は「建設業が将来にわたって活動していくためには、若年労働者の確保・育成に取り組むことが必要。この会議を通して北関東3県のさらなる連携を」とあいさつ。

立蔵土木部長は「建設業が将来にわたって活動していくためには、若年労働者の確保・育成に取り組むことが必要。この会議を通して北関東3県のさらなる連携を」とあいさつ。

立蔵土木部長は「建設業が将来にわたって活動していくためには、若年労働者の確保・育成に取り組むことが必要。この会議を通して北関東3県のさらなる連携を」とあいさつ。

立蔵土木部長は「建設業が将来にわたって活動していくためには、若年労働者の確保・育成に取り組むことが必要。この会議を通して北関東3県のさらなる連携を」とあいさつ。

立蔵土木部長は「建設業が将来にわたって活動していくためには、若年労働者の確保・育成に取り組むことが必要。この会議を通して北関東3県のさらなる連携を」とあいさつ。



久保田所長

久保田所長は「東日本大震災からの復旧など、地域の建設業が地域の安全に大きな役割を果たしていることが世の中に広く知られていない。官民連携し、建設業の魅力を伝えて行ければ」などと祝辞を述べ、立蔵義明茨城県土木部長が「県としては、業界が抱える共通の課題を真摯に受け止め、皆さまと一緒に、より良い方向となるよう入札契約制度の改善など努力していきたい」と話した。

久保田所長は「東日本大震災からの復旧など、地域の建設業が地域の安全に大きな役割を果たしていることが世の中に広く知られていない。官民連携し、建設業の魅力を伝えて行ければ」などと祝辞を述べ、立蔵義明茨城県土木部長が「県としては、業界が抱える共通の課題を真摯に受け止め、皆さまと一緒に、より良い方向となるよう入札契約制度の改善など努力していきたい」と話した。

久保田所長は「東日本大震災からの復旧など、地域の建設業が地域の安全に大きな役割を果たしていることが世の中に広く知られていない。官民連携し、建設業の魅力を伝えて行ければ」などと祝辞を述べ、立蔵義明茨城県土木部長が「県としては、業界が抱える共通の課題を真摯に受け止め、皆さまと一緒に、より良い方向となるよう入札契約制度の改善など努力していきたい」と話した。

久保田所長は「東日本大震災からの復旧など、地域の建設業が地域の安全に大きな役割を果たしていることが世の中に広く知られていない。官民連携し、建設業の魅力を伝えて行ければ」などと祝辞を述べ、立蔵義明茨城県土木部長が「県としては、業界が抱える共通の課題を真摯に受け止め、皆さまと一緒に、より良い方向となるよう入札契約制度の改善など努力していきたい」と話した。



活発な意見交換が行われた

活発な意見交換が行われた。立蔵土木部長は「建設業が将来にわたって活動していくためには、若年労働者の確保・育成に取り組むことが必要。この会議を通して北関東3県のさらなる連携を」とあいさつ。